

第4回演奏会に向けて

“貴方が本当にモーツァルトを殺したのですか?”とロッシーニが聞くと、サリエリは“殺人をするような顔に見えるかね?”と答えたとか。殺人の噂がオペラや映画になるなど大変不名誉な扱いを受けてきた作曲家サリエリ。そのような逸話を耳にして作品に触れてみると、多くの想像が掻き立てられます。幸いに合唱団オラシヨクラブの有志は1月にウィーンを訪問し、大作曲家達の最期の場所、作曲した家、働いていた教会等々、実際に足を運んでその空気を感じて参りました。今回取り上げる作品では、聖なる音楽の向こう側で起きた作曲家の人間ドラマをあたたかもタイムスリップして見てきたかのように、深遠な響きを感じながら演奏したく思っております。

合唱団オラシヨクラブ代表 奥村泰憲

ORATIO CLUB



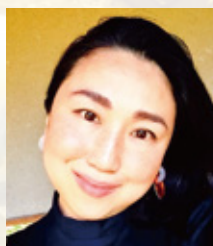
指揮 奥村 泰憲

4歳よりヴァイオリンを始める。広島少年合唱隊出身。エリザベト音楽大学宗教音楽学科卒業、同大学院修了。2005年よりウィーン国立音楽大学(声楽)、プライナー音楽院(指揮・オペラ)で研鑽を積む。2009年ウィーンでシュツ「十字架上の七つの言葉」、バッハ「ルターミサ」を指揮しデビュー。オーストリアを中心に音楽祭の副指揮、合唱指導など多岐にわたり活動。2012年帰国後は宗教曲の他、歌劇「天空の町」「フィガロの結婚」を指揮。合唱団オラシヨクラブ、東京バロックスコラズ、MBC室内合唱団、合唱団玄、日本聖公会聖アンデレ教会聖歌隊指導者。



ソプラノ 清水 梢

横浜市出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。2歳半よりバイオリンを始め、14歳で声楽に転向。これまでにオペラや数々のコンサートに出演他、近年はJ.S.バッハ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」「ミサ曲口短調」、G.F.ヘンデル「メサイア」、ハイドン「ハルモニーマサ」、J.ラター「マニフィカト」など宗教曲のソリストとして活躍。その他、横浜や都内を中心にカフェやレストラン等でもクラシックの枠を越え音楽活動を行う。又、バッハ・コレギウム・ジャパン主催の国内外の公演やCD録音に参加している。横浜音楽協会会員、横浜市民広間演奏会会員。横浜シティ合唱団、JVC合唱団、エルヴィオ・ソヌス、各ボイストレーナー。コールCHAYA、アンサンブルグループSEAZ、アンサンブルグループCradle、コーロ・センチアーマー・クラシコを指導。これまでに声楽を大島洋子、三山洋陽の各氏に、古楽声楽を鈴木美登里氏に師事。



アルト 中村 香織

東京音楽大学及び同大学院・モーツァルトウム音楽大学(オーストリア・ザルツブルグ)のアカデミー修了。東京音楽大学声楽助手を経て、国際ロータリー財団奨学生として渡仏。フランス国立ストラスブール音楽院修了。各時代の音楽様式・声楽のバリエーション・西洋から中東など多言語の作品を研鑽する機会に恵まれた。現代音楽祭MUSICA・パスカル・ロフェ指揮「夏の夜」等の演奏活動、アルザス地方の音楽学校声楽講師を経て帰国。第41回フランス音楽コンクール声楽部門第2位。京都フランス音楽アカデミー声楽クラス通訳(2012/13)。山梨英和高校フランス語及び甲斐清和高校音楽科声楽講師。東京工業大学(GSEP)等の教育機関で音楽の探求学習を展開。日仏現代音楽協会会員。



テノール 山本 義人

日本大学芸術学部音楽学科卒業。二期会オペラスタジオ第34期終了。声楽を大久保真、内村寛治、V.テラノーヴァ、G.ラヴァッツィに師事。大学在学中にオペラ「ルチア」でデビューし、その後主役から脇役まで多数演じる。94年井上道義指揮「バーンスタインのミサ」のテノールソロ、東京フィルハーモニー交響楽団ファミリーコンサート、ロジェストベンスキー指揮読売日本交響楽団「ナイチンゲール」日本の大使役はじめ、第九、モーツァルト・レクイエム、シューベルトやカンプラーのミサ等のテノールソロを歌う。A.ラミレス「ミサクリオージャ」では指揮をしながらテノールソロを歌い好評を博した。黒柳徹子主演「想い出のカルテット」、加藤剛主演「コルチャック先生」や蜷川幸雄演出、尾上菊之助主演「十二夜」では歌唱指導として参加している。現在9団体の合唱団常任指揮者としても活躍している。



バス 草刈 伸明

桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学研究科を修了。これまで佐藤桂子、木村俊光の両氏に師事。第20回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。日唄文化協会フレッシュコンサート2010年度奨励賞。2012年に第42回ウィーン国際音楽セミナーに参加し、オスカー・ヒレブランド氏に師事。またセミナー内で行われたデヒラー・コンクールにおいて3位入賞し、ウィーン市庁舎旧館で開催された入賞記念コンサートに出演。これまでにビゼー歌劇「カルメン」のダンカイロ役、レハールのオペレッタ「メリー・ウィドー」のダニロ役、モーツァルト歌劇「魔笛」のパパゲーノ役、モーツァルトの歌劇「フィガロの結婚」フィガロ役、レオンカヴァッロ歌劇「道化師」のシルヴィオ役等で出演。2018年1月にドニゼッティ歌劇「愛の妙薬」のベルコレ役、4月ジョルダノ歌劇「アンドレア・シェニエ」のルーシェ役で出演。

オラシヨアンサンブル

第1ヴァイオリン 原田陽 第2ヴァイオリン 廣川智 ヴィオラ 西村葉子 チェロ 櫻井慶喜
コントラバス 信友裕子 オーボエ 関水萌子 トランペット 築地徹 オルガン 野村牧子

合唱団オラシヨクラブ

オラシヨとは「祈り」。隠れキリシタンが神に捧げた言葉です。18世紀のウィーンのミサ曲を中心に、楽しみながら学びあえる混声合唱団を目指して2014年6月結成。カトリック世田谷教会にて練習を行い、これまで第1回演奏会を高円寺教会、第2回を聖イグナチオ教会、第3回を東京カテドラル関口教会で開催。音楽を通しての心身の健康づくり、被災地支援、国際交流の3つを柱に活動しており、特に国際交流としては2015年元日にウィーン・イエズス会教会のミサで演奏されたモーツァルト「雀のミサ」に有志8人が参加。同年10月にはウィーンから来日中の「マケドニアの歌姫」クルステスカ氏とカトリック渋谷教会でのチャリティコンサートに出演。2016年にはウィーン・イエズス会教会指揮者のアンドレアス・ピクスナー氏を第2回演奏会指揮者として招聘。また今年1月6日には有志24名が同教会のミサでのモーツァルト「戴冠ミサ」演奏に参加した。

